

留学レポート (5)

I 年次所属
市原 柳奈子

残りの滞在期間も4か月程となり、今も充実した生活を送っています。クラブとして参加している模擬国連では先日、大きな模擬国連会議がありました。また、水泳では、シーズンが終わりオフシーズンの練習に励んでいます。

模擬国連では、毎月2回ほどのクラブ活動があり、そのクラブのたびにディベートの練習をしたり、本番の流れを習ったりしていました。水泳のシーズン最中だったため、本番の会議の直前はすべての練習に参加することはできませんでしたが、毎回のクラブ活動を楽しみました。

私が参加したのは、2月1日(木)から2日(金)にかけてヒューストン大学(University of Houston)で行われた49th Houston Area Model United Nations Conference¹という米国南西部で最大規模の大会でした。本番の会議前には、自分の国割りとお自分の委員会割りがあり、私は東ヨーロッパのジョージアを担当し、Commission on the Status of Women (CSW)という女性のための機関に割り当てられました。このような委員会は25ほどあり、この委員会ごとでそれぞれ会議がありました。全体の参加者は1000人を超えるほどで、その中の30から60人がそれぞれの委員会に割り当てられます。私の委員会には40人ほどがおり、日本で経験したことがある会議と異なり人数が多いことに驚きました。

↓CSWの皆さんと



HAMUN 開会式の様子



¹ HAMUN ウェブサイト (<https://www.hamun.org/>)

各委員会にそれぞれトピックが出され、それに対する議論をしていくのですが、会議前にはそのトピックに対する自国の状況や世界の状況を調べるなど様々な情報を自分で集め、自国の意見を固めるなどの準備が必要でした。

また、ポジションペーパーを一から自分で書くことも会議前に必要でした。普段のクラブ活動で、「どのようにポジションペーパーを書くか」などを教わり、初めて一から作成しました。私が以前参加した日本での模擬国連では、1か国を2人で担当し、易しいトピックについて議論しました。ポジションペーパーも空欄を埋めるだけなどでした。ところが、今回は1か国を1人で担当し、実際に起きている社会問題についてのポジションペーパーを書かなければならず、初めてでチャレンジングなことばかりでした。会議はとても活発で日本とは様々な違いがありました。

2日間にわたる会議でしたが1日目は周りに圧倒され、混乱するばかりでこれといって特別なことはできませんでした。しかし、2日目は、1日目の経験を生かし、周りに負けずに参加することができました。全体の前で話すことや解決案を作ることなど様々なことに挑戦することができました。

本格的な模擬国連に参加したことは自分にとって少しチャレンジングなことでしたが、最初に周囲に圧倒させられたことを刺激とし、ものすごく良い経験が積めたと思います。日本に帰ったら、引き続き模擬国連に参加していきたいし、もっと模擬国連を活発なものにしていきたいと思っています。この経験を生かし、自分にできることをしていこうと考えています。


Houston Area Model United Nations

HAMUN 49 Schedule

Thursday, February 1, 2024
8:00 AM – 8:55 AM: Registration

9:00 AM – 10:30 AM: Opening Ceremonies
10:45 AM – 12:30 PM: Committee Session I
10:30 AM – 12:30 PM: Lunch

11:45 AM – 2:45 PM: Committee Session II
3:00 PM – 4:00 PM: Committee Session III
4:30 PM – 6:00 PM: Dinner

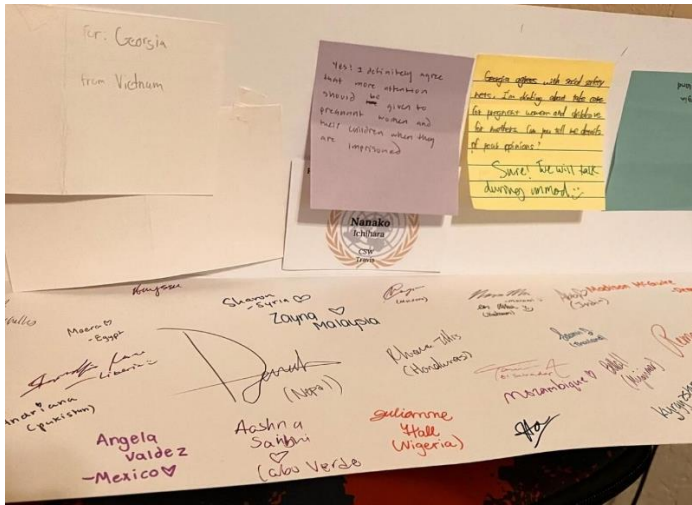
5:30 PM – 7:00 PM: Committee Session III

Friday, February 2, 2024
9:00 AM – 11:30 PM: Committee Session IV
11:30 AM PM – 1:00 PM: Lunch
3:45 PM – 4:15 PM: Committee Session V (Last Session)
4:30 PM – 5:30 PM: Closing Ceremonies

↑ HAMUN の日程です。みっちりでした。



動議(Motion)の様子。忙しく、記念撮影をする暇がありませんでした。



←使用したプラカードに他の国を担当したメンバーからサインやメッセージをもらいました。

1か月ほど前、に水泳の最後の大会がありました。1月25日(木)から26日(金)にかけて行われた Varsity District Championship Swimming Meet という試合でした。月に1回ほどの頻度であった大会もとてもよく思い出に残っています。今はオフシーズンですが、引き続き練習が行われるということで今もほぼ毎日の練習を楽しんでいます。

先月にはシーズンが終わるということと、最高学年にとって最後のシーズンになるということもあり、3回ほど大会がありました。その1か月ほど前の冬休みくらいから、大会に集中した練習など普段とは異なる練習をしたり、これは普段からのことですが、泳ぐだけでなく陸上トレーニングやウェイトトレーニングをしたりしていました。

シーズンが終わった今感じているのは、学校全体でスポーツにすごく注目しているということです。普段も大会前もすべての練習がすごく本格的なものだったというだけでなく、大会前には水泳のチームで「ホールウェイウォーク」という、学校中を選手たちが吹奏楽の人たちの音楽とともに歩き回るといったものもありました。日本の壮行会のように、大会や大きなイベントを応援するために行われるそうです。



↑ホールウェイウォークの様子

また、最高学年のための引退試合的なものもあり、もちろん普段のような大会なのですが、大会の中間に大きなブレイクタイムが設けられ、その時にシニア（＝12年生）の生徒たちは、コーチにより、今までの実績や、どこの大学に行くなどをアナウンスされ、プールサイドを歩いていました。これらのように大事な大会があると学校全体のサポートがあり、他のスポーツのチームが応援に来たり、逆に応援に行ったりなど様々な面でスポーツが大々的に注目されているのだと改めて感じさせられました。残りの練習も楽しんで参加していきたいと思っています。



↑チームメイトとともに(チーム公式Instagramより)

模擬国連のクラブ活動はこれでいったん終わりという形ですが、今は水泳の練習をしたり、日本語授業に顔を出し補助したりするなど毎日を楽しんでいます。学校生活に十分慣れたことによってできた自由時間もたくさんあります。これからはその自由時間をホストファミリーと過ごすために使いつつ、それ以外に何に使うか考えながらも過ごしていきたいと思っています。今の充実した生活を楽しんで残りの留学期間を過ごしていきます。



左:地区で勉強もスポーツも頑張った人として称えられたようです。

右:大会前に女子メンバーで集合写真を撮りました。

(いずれもチーム公式Instagramより)